

H30.6.23 米沢有為会講演資料

米沢ブランド戦略について

H30.6 米沢市

Agenda

2

1. 米沢ブランディングの課題と目指す姿
2. 市民参加型の米沢ブランディング
3. 米沢ブランド戦略について
4. 米沢ブランドスローガン・ロゴマーク

米沢ブランディングの課題と目指す姿

米沢ブランディングの前提

4

米沢には歴史・自然・産品など多くの資産があり
市内外の生活者が魅力を感じられる街である。

歴史

上杉家が築き上げた歴史、そして鷹山公が成し遂げた数々の業績は米沢のアイデンティティとなっている



自然

寒暖差があり四季のメリハリのある美しい自然や米沢八湯などの自然の恵みは多くの観光客を魅了する資産となっている



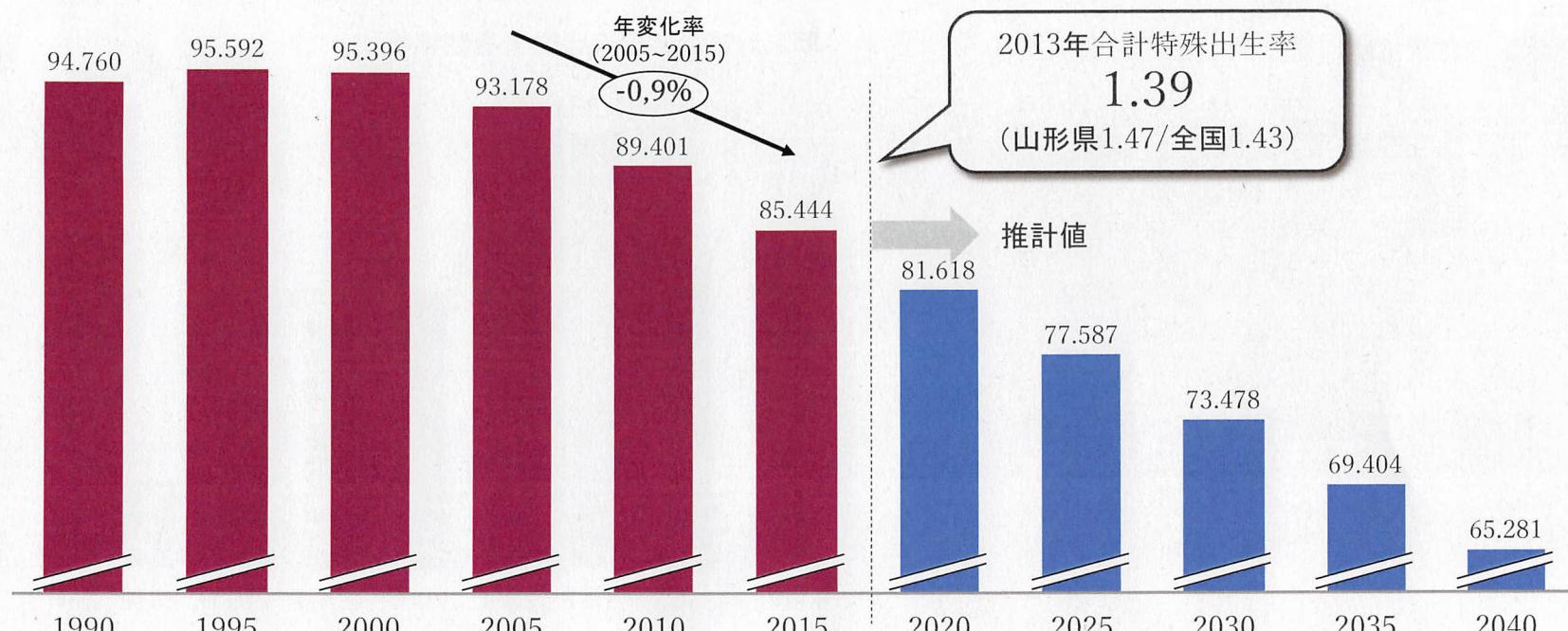
産品・産業

厳しい自然が生み出した日本屈指のブランド牛である米沢牛をはじめとして多くの農畜産物や産業を生み出している



米沢が抱える現実 ①人口の減少

米沢市は2000年以降人口減少に転じており
低い出生率も相まって将来大きな人口減が予測される。



Source: 米沢市人口ビジョン

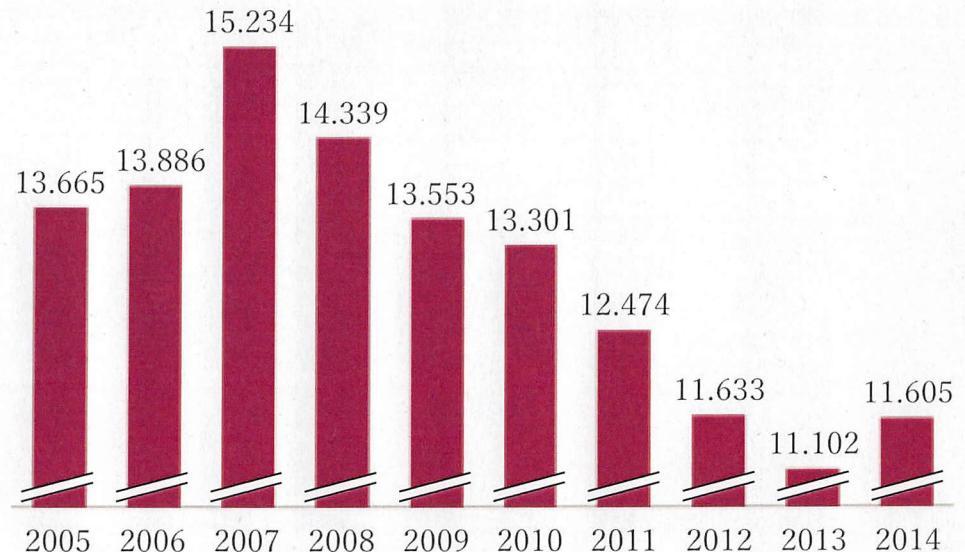
米沢が抱える現実 ②産業の衰退

米沢市は電子・機械産業や織物産業などの優れた産業を有しているが、減少傾向となっている。

■米沢市の産業資産

- 加工組立型産業に特化し、情報、電子、機械産業の集積地として工業団地の整備や企業誘致、産学連携による技術開発等が活発に行われてきた
- 高度な織物技術を持つ企業や、草木染などの伝統的な小巾・広巾織物等、繊維産業の集積地として、天然繊維と化学繊維の総合産地となっている

■米沢市の製造業の従業者数推移

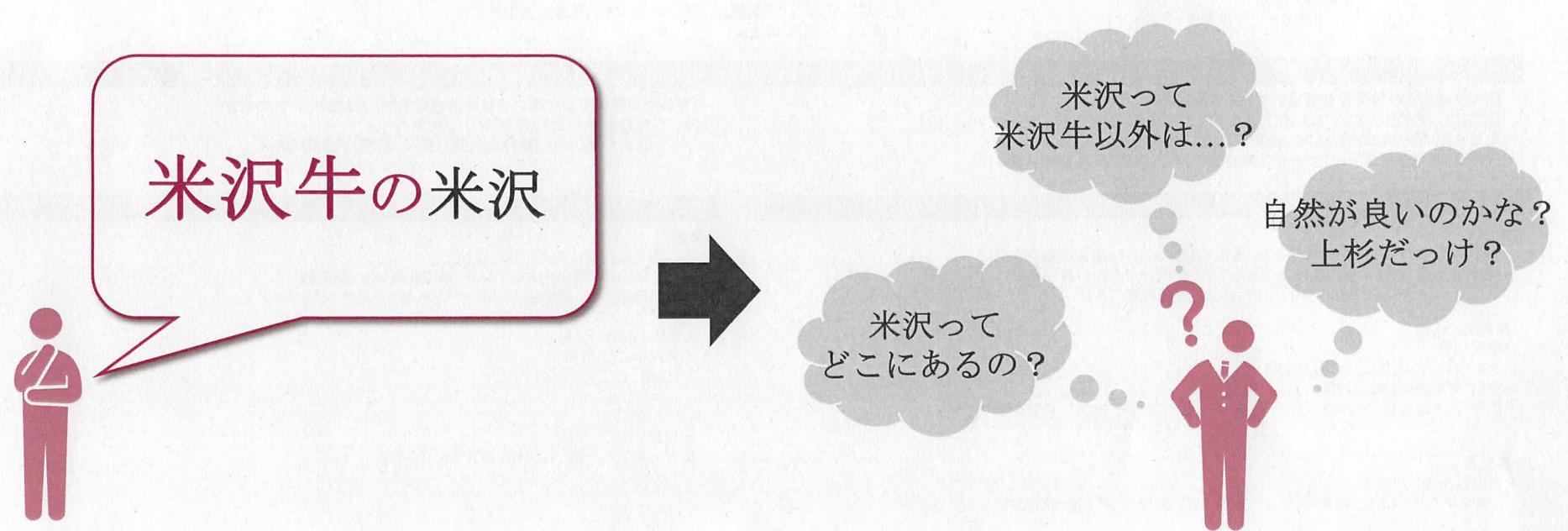


Source : 「米沢市の工業一工業統計調査結果報告書一」（平成26年）

米沢が抱える現実 ③市外の生活者における米沢の認識

7

日本有数のブランド牛「米沢牛」によって市の認知は高いが
米沢の魅力が浸透している状況とは言い難い。



参考)米沢市の概況整理

人口・自然環境	生活・歴史	産業
<p>■人口 ・県内では4番目に人口が多い ・人口減少のスピードは加速する見通し 　平成27年 85,444人 　平成37年 77,587人 　平成47年 69,404人 ・要因=子どもを生む世代の市外流出、非婚化・晩婚化、母親世代人口の減少、共稼ぎが多い</p> <p>■自然環境 ・四季による季節差 ・豊かな自然(最上川源流、市域のおよそ77%が森林地域) ・自然との共生(古くは草木塔の建立) ・5万人以上の人口を持つ都市の中では積雪量が多い</p>	<p>■生活 ・豪雪地域からなる豊かな水資源 ・四季がはっきりしており、心地よい街の雰囲気 ・市内二次交通は改善の余地あり</p> <p>■歴史 ・「米がたくさんある扇状地」「潤いのある(=沢)土地」が語源 ・城下町としての自負:上杉謙信・上杉鷹山・直江兼続 ・米沢織といった産業も、上杉鷹山の産業振興によるもの</p>	<p>■産業全体 ・2014年は従業員数・製造品出荷額は前年比増加の一方で、事業所数・従業員数・製造品出荷額等は減少傾向</p> <p>■工業 ・加工組立型産業に特化(情報、電子、機械産業の集積地) 　→工業団地整備、企業誘致、山大工学部との産学連携 ・山形大学工学部による有機EL、エレクトロニクス関連技術の研究開発 ・NECによるノートPCの生産</p>
ブランドステータス		
<p>・認知度・魅力度・情報接触度はいずれも下降傾向 ・認知度177位(前年度122位)、魅力度153位(〃62位)、情報接触度175位(〃107位) ・地域資源の評価は総合64.7点(前年73.1点)で全国56位 ・偏差値ではモノ資源76.7、サービス資源64.1、自然資源63.2、歴史資源54.9</p>		
観光	产品	
<p>■概要 ・(国内旅行者)目的はグルメ(53.1%)、名所・旧跡(36.0%)、温泉保養(20.5%) ・(海外旅行者)台湾からの直行便があるため、台湾からの旅行者が多い 　エリア別では村山、庄内、最上、置賜の順に多い</p> <p>■資産 ・米沢八湯 ・上杉ゆかりの寺社などの歴史遺産 ・自然:吾妻連峰、最上川源流、滑川大滝等 ・催事:米沢上杉まつり、なせばなる秋まつり、上杉雪灯籠まつり、米沢牛肉まつり、 ・レジャー:スキー、スノーボード、天元台高原トレッキング</p> <p>■交通 ・都市部からの利便性 　- 東北中央自動車道(福島(大笹生)-米沢(八幡原)間20分)、道の駅整備 　- 東京からは2時間程度</p>	<p>■食 ・良い水と寒暖差に支えられた豊かな食 　- ABC(Apple=館山りんご/Beef=米沢牛/Carp=米沢鯉) 　- 米沢伝統野菜、農產品(うこぎ・さくらんぼ・吾妻竹・デラウェア) 　- 米沢ラーメン、そば 　- 潽物、地酒 　- 米沢牛はGI取得 　- いも煮、玉こんにゃく</p> <p>■伝統・民芸 ・米沢織、笛野一刀彫 ・相良人形、米沢焼、打刃物、原方刺し子、独楽</p>	

出典:米沢市『米沢ブランド戦略』(平成29年3月)、ブランド総合研究所『第12回地域ブランド調査2017』
※ブランドステータスについては『第12回地域ブランド調査2017』の数値

米沢ブランディングの課題

9

「米沢と言えば○○の街」という強いシンボルが
市民においても、市外の生活者においても無い。

✓ 米沢は魅力があり過ぎる

上杉家・鷹山公が築いてきた歴史、四季のメリハリや温泉などの美しい自然、さらに米沢牛を代表する農畜産物や米沢織・有機ELなどの産業など、多くの魅力ある資産があるが、それぞれがバラバラで“米沢”に結びついていない

✓ 説明しないとわからない

米沢の多くの資産は、見た・聞いた瞬間誰でも分かるものではなく、その裏にあるストーリーと共に理解して初めて魅力を感じるものが多く、なかなか多くの人にはその魅力が伝わりきっていない

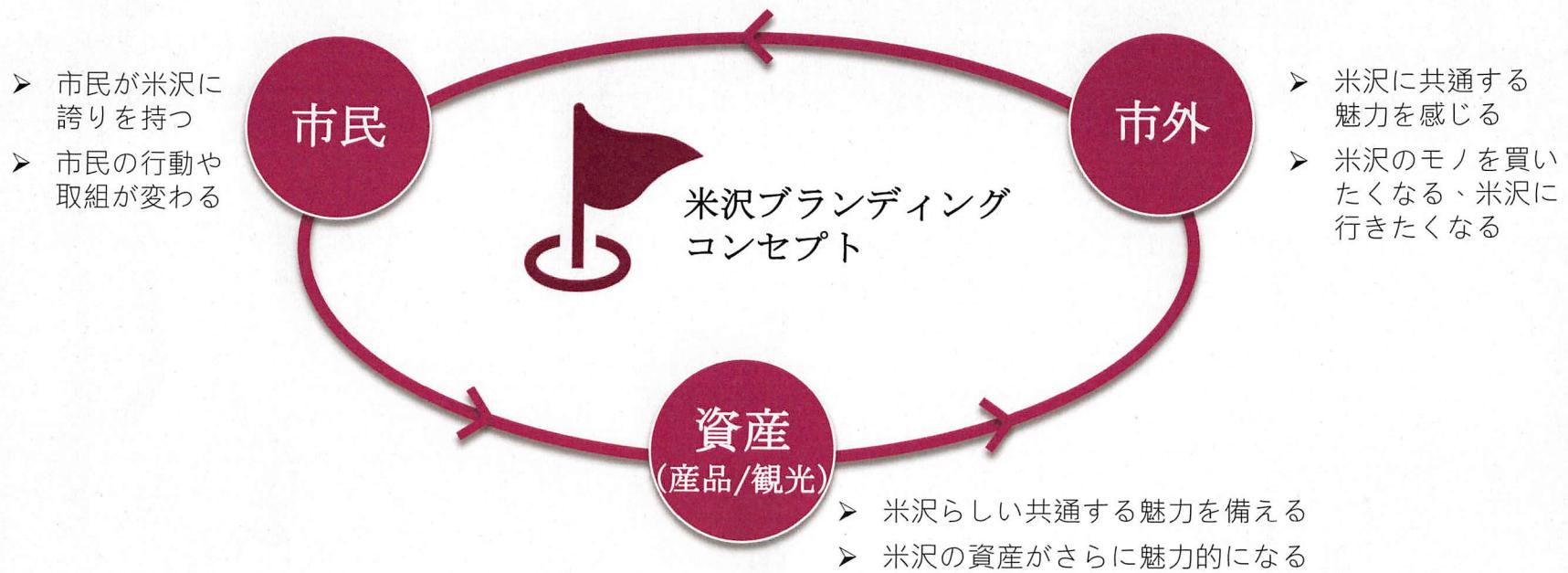
✓ 米沢牛を活かせていない

米沢牛が美味しい牛肉である、という認知はあるものの、ほとんど市外に卸していないこともあり、実際に食した人も少なく、また、何故おいしいのかを知る人も少ないため、認知以上に米沢の魅力として寄与していない

米沢ブランディングが目指す姿

10

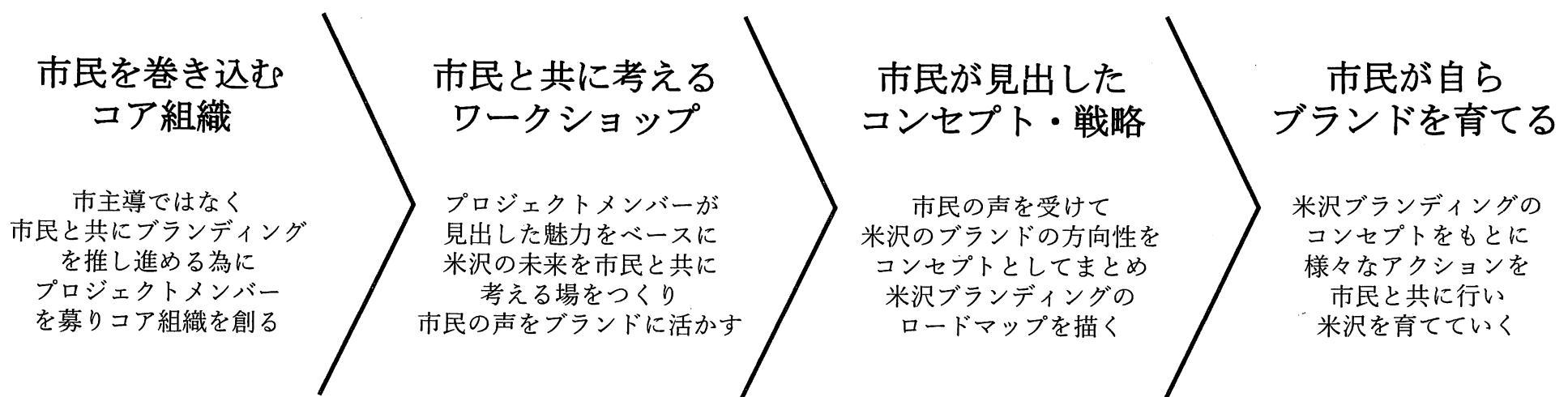
米沢をひとつにまとめる“旗印”であるコンセプトが、市民の誇りとなり、資産をまとめ、ヒトやモノを動かす。



市民参加型の米沢ブランディング

市民参加型の米沢ブランディングとは

市民自らが考え、自らが生み出し、自らが育てる
シティブランディングを目指したプロセス。

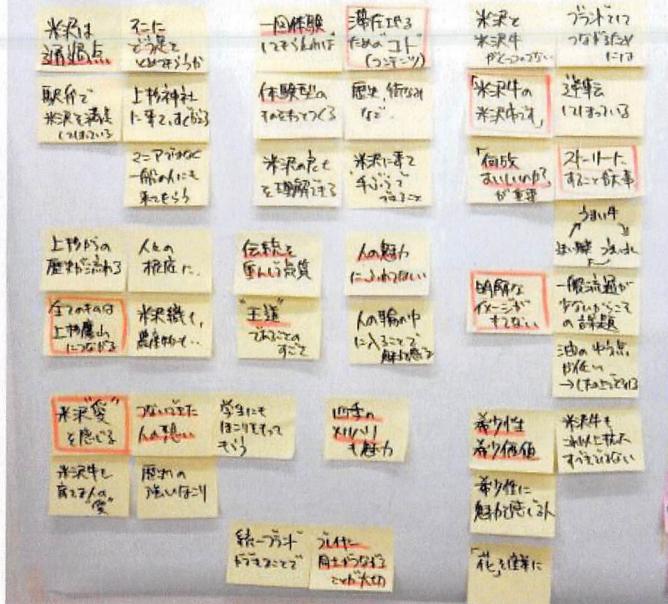


米沢の魅力

米沢ブランドイングプロジェクトメンバーとの ワークショップで米沢の魅力を検討

13

51. ヒマラヤ山脈の气候.



S2. 米沢の魅力とは



米沢の魅力

米沢プランディングプロジェクトメンバーとの
ワークショップで米沢の魅力を検討

14

1. 鷹山公から受け継ぐ「日本の真の豊かさ」
2. イノベーションを生み出す鷹山公スピリット
3. 日本の四季を凝縮した豊かな自然
4. 質の高い米沢の産物
5. 自然と共に健康になれる
6. 東京から2時間で味わえるアウトドア

上質な日本を凝縮『コンパクト・ジャパン米沢』

社会や生活スタイルの変化がますますスピードアップし、日本中がミニ東京化する時代の中で、私たち日本人は、日本本来の良さを見失いつつあるのではないか。
寒暖の差が大きく、はっきりとした四季の移ろい。最上川の源流をなす清らかな水源と、湧き続ける癒しの湯。豊かな自然環境がもたらす、米沢牛をはじめとする多彩な食材と食文化。
そして、上杉家の歴史とともに受け継がれてきた日本人らしい精神文化と、伝統の米沢織に発する職人気質とモノづくりの技。米沢には動きやすいコンパクトなエリアの中に、日本人が忘れつつある「上質のジャパン」がぎっしりと凝縮されています。
日本人が日本の良さに改めて気づき、外国人がすばらしい日本にまとめて出会える町、コンパクト・ジャパン米沢へ。

人間力×自然力の『米沢クオリティ』

米沢人がプライドをもっている、米沢のすべてに通じる品質の高さ。

それは米沢にしかない、自然力と人間力の幸福な出会いから生まれています。

最上川の源流を成す清らかで豊富な水、寒暖差が大きくて厳しい、しかし豊かな食材を育むのに適した四季と気候…。米沢の自然環境はもともと、「高品質」のための豊かな素質を備えていました。

そしてその素質を100%生かしきったのが、「頑固」な米沢人の品質への厳しさとこだわり、

そしてごまかしを嫌う正直さと真面目さです。鷹山公が産業振興のために導入した伝統の米沢織は、

米沢の人々に広がり、それとともに品質にこだわる職人気質と、細かい作業が得意な器用さも広がって、

今日まで豊かに受け継がれてきました。稀有な自然環境と稀有な頑固さ・こだわりの掛け算に、

今日では伝統とモダンの新しいアレンジも掛け合わさって、「米沢クオリティ」はさらなる品質の高みへ。

これからもっともっと多くの皆さんに、手に取り、味わい、体験していただく価値がきっとあると確信します。

鷹山公のDNA『挑戦と創造の町、米沢』

「なせば成る、なさねば成らぬ何事も。ならぬは人の、なさぬなりけり。」

これは上杉鷹山公が、家臣にチャレンジ精神の大切さを伝えた有名な言葉です。

現代の米沢の人々、そしてJ.F.ケネディにも敬愛された鷹山公は、それまでの前例にとらわれない新しい発想からの行政改革やインフラ事業、明日の豊かさを見据えた米沢織をはじめとする新しい産業の導入や、それらに必要な人材の育成に生涯を通じて力を注ぎました。人々の暮らしを豊かに変えた鷹山公のチャレンジ&イノベーションの精神は、その後も今まで米沢の人々に受け継がれています。技術進歩の歴史の中で米沢が、人造絹糸（レーヨン）やノートパソコンや、有機ELの発祥の地になったことも、もちろん偶然の事ではありません。米沢の人々のDNAともいえるこのチャレンジ&イノベーションの伝統とともに、今も米沢では従来の発想にとらわれない新しい視点から、新しい魅力や価値を創造する試みが常に進行しています。米沢はこれから訪れる度に、他のどこにもなかつた新しい魅力や価値に出会える町であり続けたいと思います。

都会人が求める『3rdプレイス』

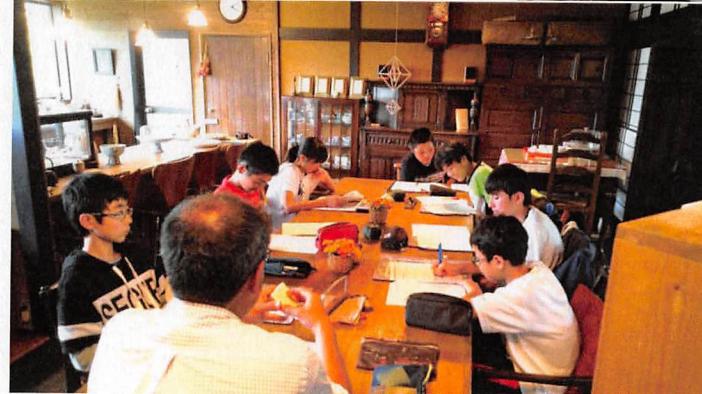
時間に追われストレスフルな都会人にはますます求められているのが、単なるレジャーではない、体と心を定期的にリフレッシュし、健やかで豊かな生活を送るための「エナジーチャージ」です。私たちは都会人のあなたに、「心身のエナジーチャージ」に理想的な、自宅と故郷に続く第3の行きつけの場所「米沢」をご提案します。新幹線で、東京から2時間余り、車でも一気に近くなりアクセスのよさが自慢の米沢。季節ごとに全く趣を変える四季の自然環境、地産地消の多彩で健康的な食材環境、泉質に優れた温泉環境、知るほどに興味をひく歴史カルチャー環境、ホタルからスキーまでのアクティビティ環境、そして人の温かさに出会える人間環境まで。心身まるごと、五感まるごと、都会人に今求められているエナジーチャージのすべてが、米沢には待っています。自信を持って、都会人のあなたの行きつけの「3rdプレイス」になれると確信します。

自然と生きる。自然に生きる。『米沢スタイル』

酷暑の夏、雪深い冬、米沢の自然は過酷です。しかし昔から米沢の人々は、この厳しい自然を受け入れたうえで、折々に趣を変える山の風景や、二十四節気ごとに心癒される四季のメリハリ、最上川の源流となる水のよさに恵まれた自然環境、そして寒暖差の大きいこの気候が育む品質の高い食材などを楽しみながら、自然の恵みと寄り添った米沢人独特の暮らしを受け継いできました。

そして、この伝統とともにもうひとつ米沢の人々の心に受け継がれ生きているのが、「足るを知る」という鷹山公の教え。それは、大切なものは何かを知ったうえで、余計なものは求めず、大切なものを知恵と創意工夫で磨きながら、気持ちよく心豊かに暮らしていくこと。

モノにあふれた今だからこそ大切にしたい、自然との共存とシンプルさを見つめるこの「米沢スタイル」の暮らし方に、私たちはもっとプライドをもち、ますます磨きをかけていきたいと考えます



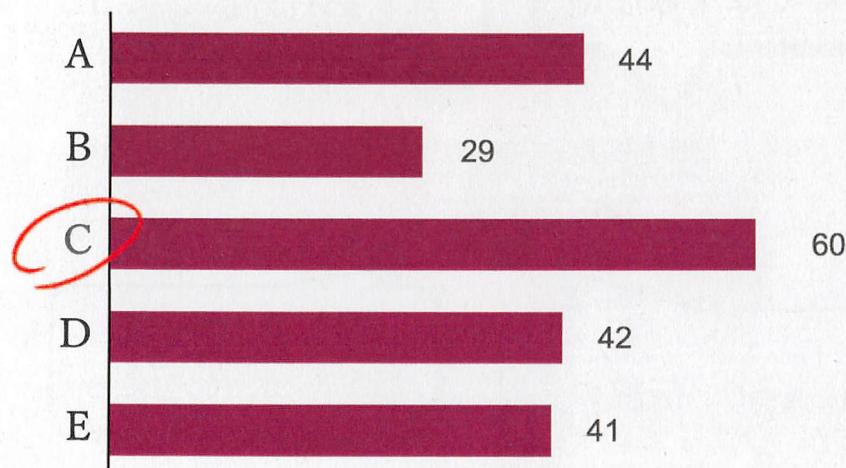
32団体
延べ50時間
215人

市民ワークショップにおけるコンセプト評価

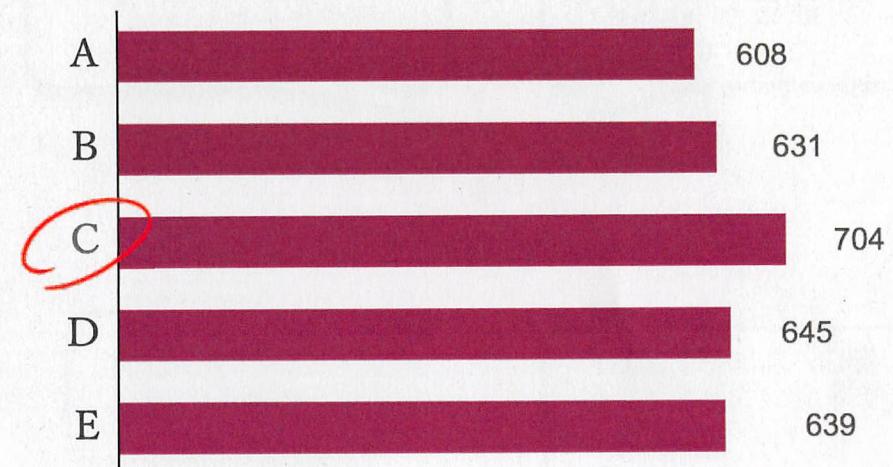
21

C案：鷹山公のDNA『挑戦と創造の町、米沢』が最高評価。

コンセプト評価【1位票】



コンセプト評価【総合得点*】



Source:市民ワークショップ事後評価(2017年10月24日現在 No.32までを反映)

市民ワークショップにおけるコンセプト評価

C案は、新しい米沢の未来に対する高い期待感と「変わらなきや」という危機感が表れている。

創造という言葉に
可能性を感じる
ことができる

こここの切り口が
一番前を向いていて
わくわくできるかも

伝統を伝えるには新しい
ことにもチャレンジ
しなくてはならない

従来の発想に
捕らわれない視点

**挑戦と創造
への高い期待感**

新しい価値を創造し、
チャレンジすることに
魅力を感じた

「挑戦と創造」に
感動した

挑戦を行うことで、新たな
魅力を見つけ、伝統の
品質が上がっていく

**挑戦することで
新しい米沢ができる**

市民ワークショップから見えてきた3つのポイント

23

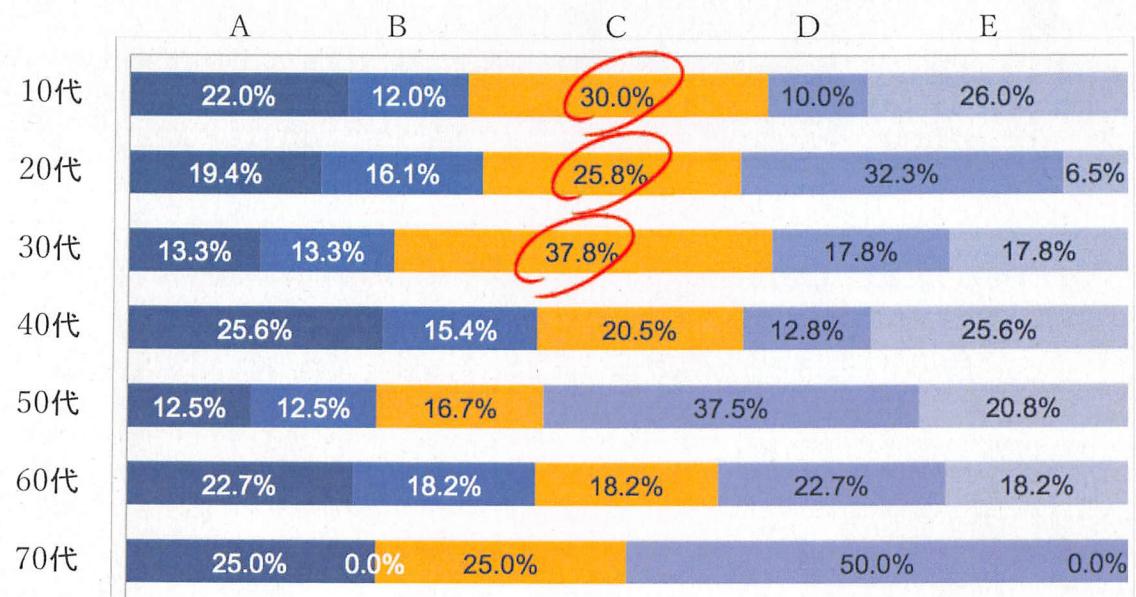
1. 新しい米沢へと変わろうとする市民の強い意志
2. 鷹山公のDNAから受け継ぐイノベーションへの誇り
3. 厳しい自然が生み出した人びとの工夫や知恵が資産

I. 新しい米沢へと変わろうとする市民の強い意志

多くの市民が共感した『挑戦と創造の町、米沢』は
変わりたい・変わらなくてはいけないという市民の強い意志。

■年代別コンセプト評価【1位評価】

これからの米沢を担っていく
10~30代といった若者は
C案への評価が全体的に高い



Source:市民ワークショップ事後評価(2017年10月24日現在 No.32までを反映)

2. 鷹山公のDNAから受け継ぐイノベーションへの誇り

25

米沢市民が強く共感する鷹山公においても
「挑戦と創造」のDNAが今後の米沢の重要な“らしさ”となる。

「足るを知る」の精神

厳しい環境の中で市民が共に生き延びる為に今の暮らしを前向きに受け止め、そこに幸せや豊かさを見出すことを推し進めた鷹山公の教え



鷹山公のDNA

✓ 「なせば成る」の精神

厳しい環境の中に希望を見出し、
新たな取り組みにチャレンジして繁栄の礎を築き、何事も前向きに挑戦することを後押しした
鷹山公の教え

3. 厳しい自然が生み出した人びとの工夫や知恵が資産

26

挑戦と創造を生み出すのは米沢の自然の“チカラ”であり
そこから生まれた人びとの知恵が米沢の魅力になっている。

厳しい自然

寒暖差が激しく夏は暑さと共に、冬は豪雪と共に生き抜くことが求められる

自然のチカラ

自然の恵み

豊かな自然が生み出す水・空気などの自然環境と、美しくも豊かな四季折々の恵み



米沢ブランド戦略について

挑戦と創造

市民が誇りを持ち、市外の人が魅力を感じ、モノやヒトに活気が生まれる

新しい米沢を支えるのは、鷹山公から受け継がれたDNAである挑戦と創造の精神。

現状を打破し、新たな未来を創り出す強い意志が、米沢を魅力的な街へと変えていく。

なぜ「挑戦と創造」なのか

「挑戦と創造」は米沢の歴史そのものであると共に、市民の誇りと市の発展を支えてきた最も大切な要素である。

歴史

「挑戦と創造」は、米沢の中興の祖である鷹山公の精神に基づいており、歴史的にも、鷹山公の言葉によって米沢の復興が実証してきた。

「なせば成る」
「伝国の辞」

市民

鷹山公は米沢市民の精神的支柱で在り、敬愛する象徴的人物である。その鷹山公が教えた「挑戦と創造」という精神は、今も市民の心に根付いており、米澤らしさの根底にある誇りとなっている。

産業

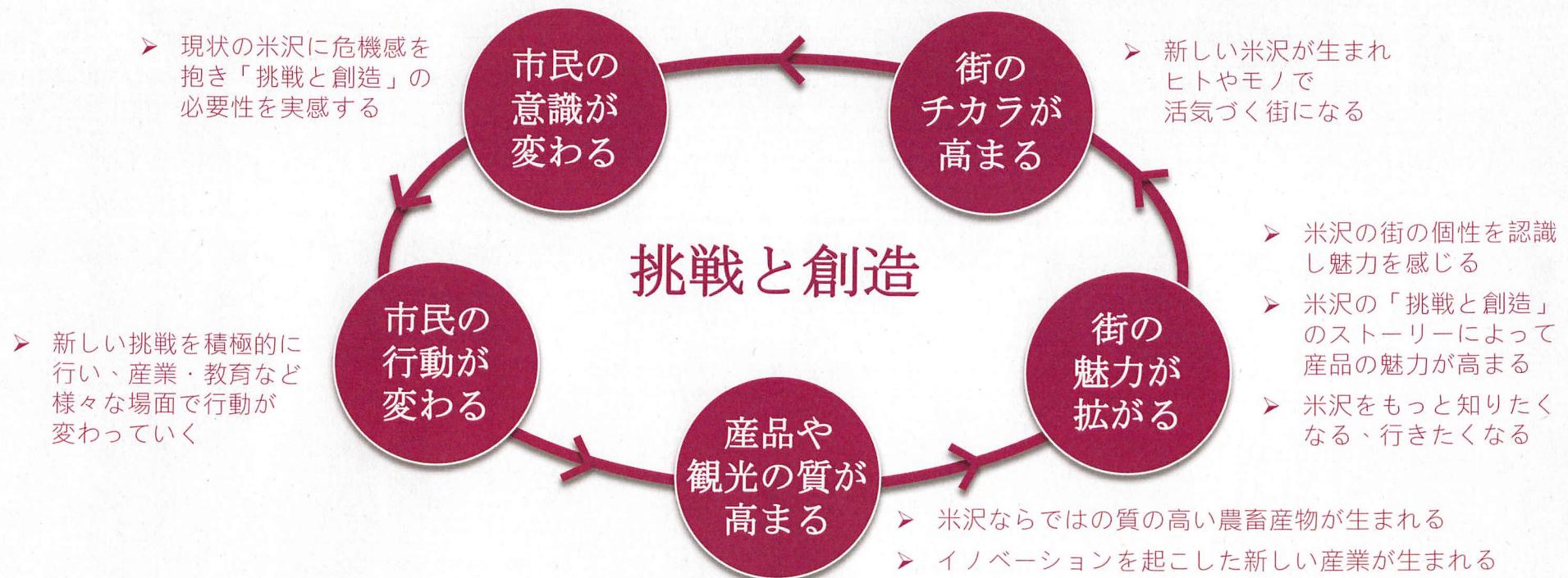
結果的に「挑戦と創造」の精神は米沢において様々な産業の発展を成し遂げてきた。

- ✓新しい農業の在り方
- ✓米沢織にみる新しい産業
- ✓日本一の米沢牛の飼育
- ✓先端産業の発展
- ✓山形大との产学連携

「挑戦と創造」が目指すべきもの

30

「挑戦と創造」とは、市民の意識変革を入口に、“人材”と“品質”を高め、魅力的な街を生み出していくプロセス。



鷹山公のDNA 『挑戦と創造』の力で、次の米沢をつくる。

少子化と高齢化の進展や、先進技術のかつてない急速な進化にともない、生活から産業まですべての面で、日本はいま次の時代への大きな変化を求められています。そして私たちの米沢もまた、「都市集中→地方人口減少→地域経済の縮小」という課題を克服し、10年後も人がイキイキと輝く活気ある米沢していくために、いま大きく変わるべき時を迎えていました。地方が自ら、地方ごとの長所と特色を生かして未来を切り拓くことをめざす、国の「地方創生」。では、米沢の未来を考えるとき、その核となれる「米沢らしさ」とは何でしょうか?その問いへの答えとして多くの米沢市民が選んだのが、鷹山公以来の長い時間の中で米沢の人々に根付いている、「なせば成る」の精神と文化でした。

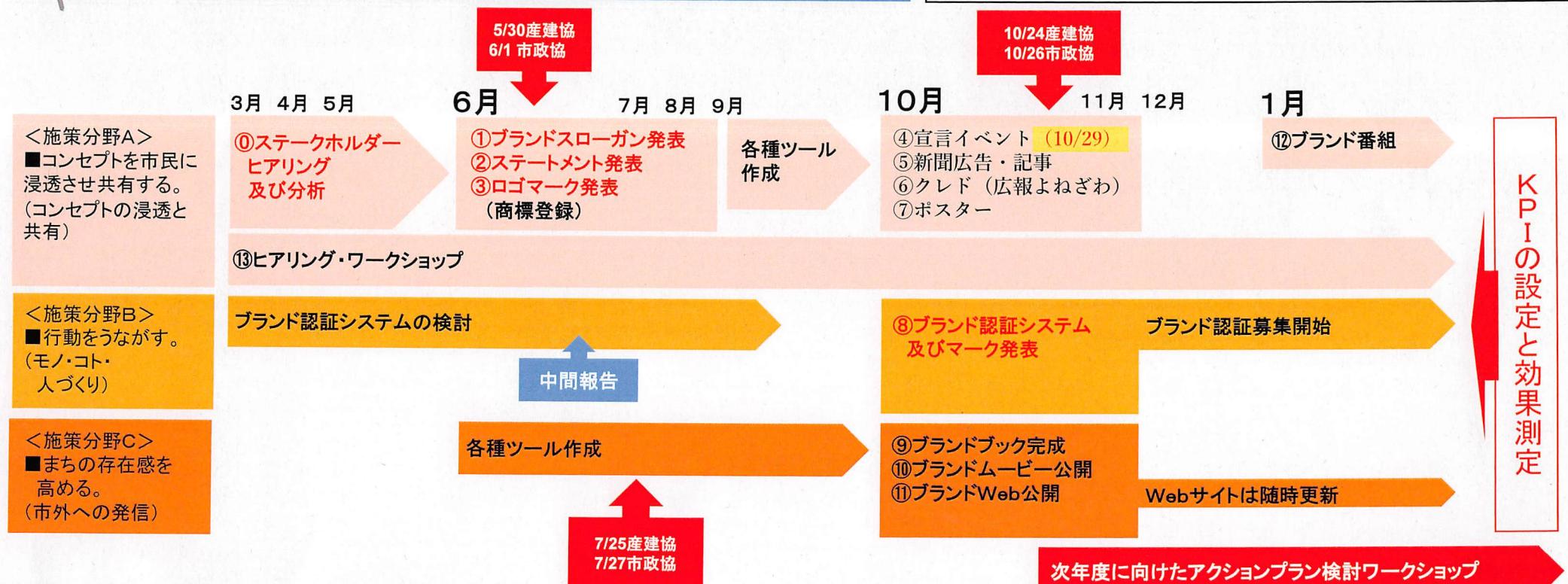
約250年前に、それまでの前例にとらわれない新しい発想からの行政改革やインフラ事業、明日の豊かさを創り出す新しい産業の導入や、それらに必要な人材の育成に全力で取り組んだ鷹山公。その「挑戦と創造」が、いまこそ再び米沢に必要とされていることを多くの市民が感じたのではないでしょうか。貧しかった米沢の人々の暮らしを豊かに変え、J.F.ケネディ大統領に「日本で最も尊敬する政治家」と評価された「挑戦と創造」の精神は、その後も今日まで米沢の人々の血となり肉となり、脈々と受け継がれているのです。歴史のなかで米沢が、米沢織や米沢牛をはじめとする数々の特産品を生み、また人造絹糸（レーヨン）やノートPC、最近では有機ELといった新技術の発祥の地になってきたことも、もちろん偶然ではありません。

かつて鷹山公が取り組んだように、いま米沢は10年後のさらに豊かで活気ある次の米沢のために、市と市民が結束し、時代の変化を見えた「挑戦と創造」の一歩をふみ出します。厳しくも、豊穣な恵みと豊かな四季の樂しみをもたらしてくれる、かけがえのない自然は変わらず大切にしながら、何よりも品質にこだわってきた米沢人伝統の知恵と、熱意と、技術をさらに高めて結集。同時に次の挑戦と創造を支える次世代人材の育成にもますます力を注ぎながら、米沢で生まれる産品やモノすべてに、かつてない高品質をめざします。米沢を訪れてくださる方々に、まだ未体験の感動をお届けしていきます。数々の新技術を生んできた伝統を明日につないで、次の新技術誕生の地をめざします。そして、子ども・若者から高齢者まですべての市民や転入者がイキイキと暮らせる、ひとつ上の住みやすさを実現します。市民が誇りと自信をもって選んだ、米沢ならではの「挑戦と創造」のDNAの力で、米沢にしかできない品質と人材の力で、米沢はこれからもっともっと、日本の他のどこにも新しい価値と、魅力と、活気にあふれる町になっていきます。

米沢ブランド戦略タイムテーブル 2018年度

鷹山公のDNA『挑戦と創造』の力で、次の米沢をつくる。

【事業目的】
「挑戦と創造」をコンセプトにしたブランディング施策と各領域の個別施策により、米沢全体をブランド化し、関係人口の増加とまちの活性化を目指す。



協議機関
 ●米沢ブランディングプロジェクト
 (メンバー)市民プロジェクトメンバー+博報堂tie+東北博報堂
 (会議頻度)月1回程度(月前半)

審議機関
 ●米沢ブランド戦略会議
 (メンバー)戦略会議委員(柴田会長)
 (会議頻度)月1回程度(月後半)

報告
 ●市議会(適宜)
 ●府議(適宜)

米沢ブランド
スローガン・ロゴマーク

— ブランドスローガン・ショルダーコピー・ステートメント —

挑戦と創造のあかし

米沢品質

米沢に脈々と受け継がれる「なせばなる」、
それは尽きることない挑戦と創造のエネルギー。
常にその先を切り拓いていこうとする精神と、
そこから生まれる、人の心を動かし、明日を輝かせる価値を、
私たちは「米沢品質」と呼ぶ。

ロゴマーク

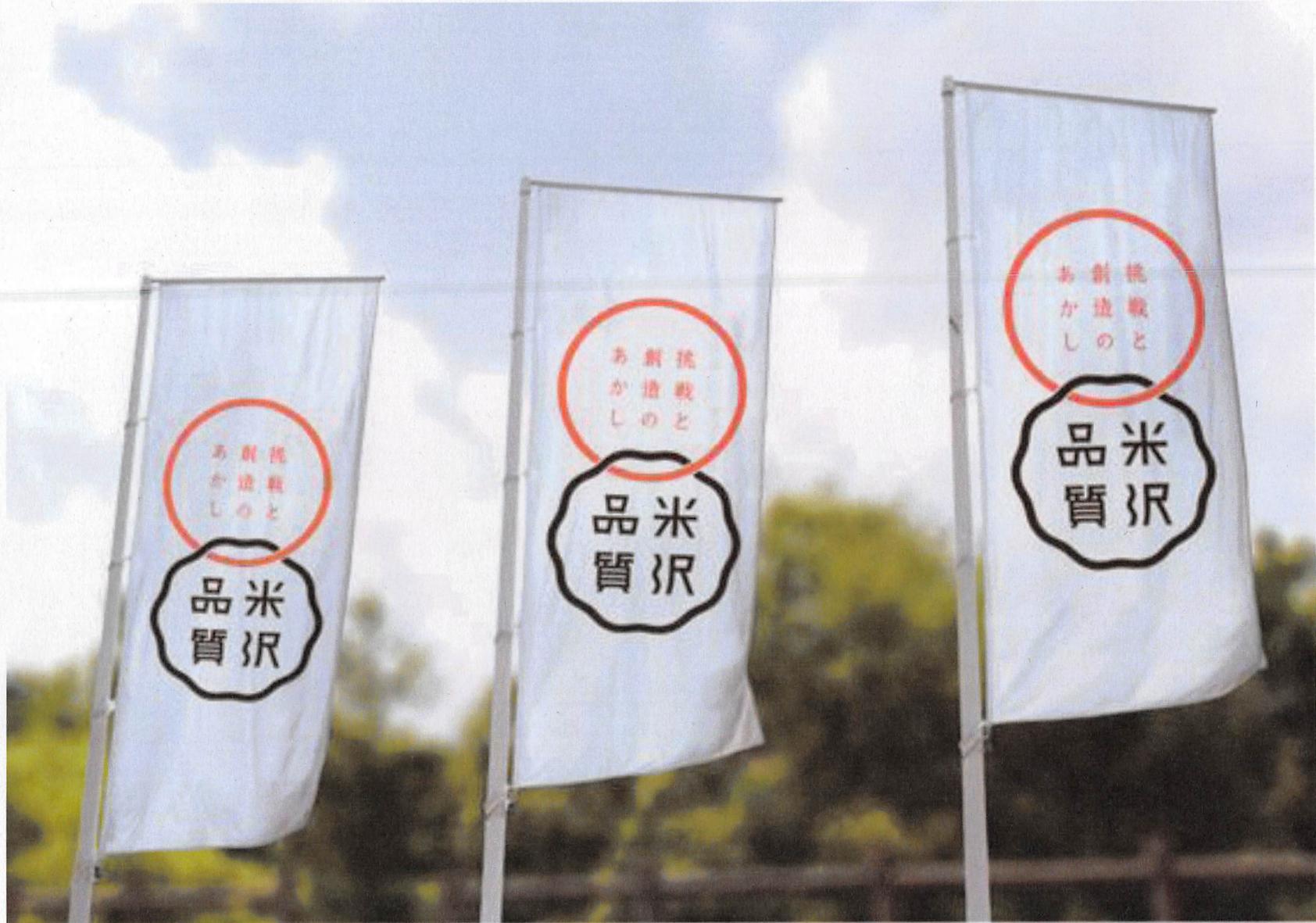
35



展開例



展開例



展開例

38

